

# 第11回 小児がん拠点病院 連絡協議会 看護部会

(2023年5月30日開催)

2023年6月28日(水)  
国立成育医療研究センター  
看護部長 嶋田せつ子

## 小児がん拠点病院看護部会

### ■活動の目的

1. 全国の施設単位で行われている看護部の取り組みの現状把握と情報共有に係ること。
2. 小児がん中央機関機能と向上を果たす上で必要となる看護体制の整備
3. 小児がん看護の質の向上に向けた教育・研修の実施

# 第1部 各施設発表

## 令和5年度 第4回目発表 (2023年5月30日)

1. 「CAR-T細胞療法の実際」  
名古屋大学医学部附属病院
2. 「栄養管理の実際」  
～NSTチームとの連携～  
広島大学病院
3. 「家族会の開催における当センターでの取り組み」  
神奈川県立こども医療センター

# 「CAR-T細胞療法の実際」名古屋大学医学部附属病院

## ■患者の事例紹介

- ・CAR-T治療前導入の準備・スケジュール
- ・こどもへの説明  
(幼児期・青年期の特徴に合わせて説明の工夫)
- ・投与後のこどもの様子
- ・退院前指導
- ・2021年3月～2023年3月までの症例件数5名
- ・前処置で経験したエンドキサンに対する

## 「CAR-T細胞療法の実際」 意見交換

質問①: 個室管理・バイタル測定などどのようにしているのか。

回答: ・キムリアの個室等の管理は個室・クリーンルームやステーションに近いお部屋に調整  
・投与直後は看護師が観察しやすい部屋に異動。またPICU等に転送し集中的に治療している。

質問②: キムリアの投与時チェックリストについて

回答: ・VS測定タイミング・DRコール基準・体重測定など臨床試験とわけてわかりやすいように作成した。

# 「栄養管理の実際」～NSTチームとの連携～

広島大学病院

- ・免疫低下食のおはなし
- ・パンフレットの内容;持ち込み食が許可される内容
- ・「おやつのおはなし」
- ・NST回診について
- ・食事調査(栄養士より)
- ・管理栄養士との連携
- ・小児科の食のイベント

## 「栄養管理の実際」 意見交換

質問①:持ち込み食のルールや困ったことなど

回答 : 骨髄移植の患者の場合は免疫低下食を医師が指示する。加圧・加熱殺菌していれば持ち込んでよいとしている。なるべく病院食が食べられるように栄養士とも連携をとり、献立を工夫したい。

質問②:NST回診情報と看護師との共有

回答 : 看護師がNSTの評価を実施と共有。回診時は夜勤のスタッフ共有、カンファレンス等で情報共有を実施している。

★多くの病院がその施設のルールを作成し持ち込み食を許可していた。全く禁止している病院はゼロであった。

## 「家族会の開催における当センターでの取り組み」

神奈川県立こども医療センター

- ・当院では小児がん拠点病院に指定される前から患者家族への長期フォローアップ教育やピアサポートを目的に家族会を開催している。
- ・コロナ渦で一時家族会が中断した時期があったため今後少しずつ再開していきたい。
- ・家族会の周知は万全ではなく、支援が行き届いていない可能性もある。
- ・WEBも活用しながら周知を広げニーズのある患者家族に支援が行き届くようにしたい。

## 「家族会の開催における当センターでの取り組み」

質問①: 患者家族が主体となる患者会はどのような職員が参加し、そのような役割を担っているのか？

回答 : 医師・看護師・MSWなども参加し技術の説明なども行うこともある。

質問②: 家族会のテーマを事前に聴取することはあるか？

回答 : 看護師が調査を実施し講師をお願いすることもある。総合的な医療・相談支援室の役割、リハビリ・栄養士などの役割など

質問③: 家族会ご案内の工夫点

回答 : 病棟の掲示・行政のご案内、医師の診察時に渡してもらうなど、医師にも協力いただいている。

# 前回の発表後，自施設で活用したこと 参考にした内容

## 令和4年度 第3回目発表(2023年1月24日)

1. 「チオテパを用いた自家造血細胞移植前処置による  
皮膚障害の予防的ケアの実際」

(兵庫県立こども病院)

2. 「小児がん患者における発達障害 発達遅延のある  
患児の対応」

cv

(東北大学病院)

3. 「こども安全チェックシートの活用」  
～こども安全チームの活動～

(九州大学病院)

# 令和4年度の発表後のアンケート

アンケート主旨：発表を聞いて自施設で取り組んだこと、感想を含めて業務改革を実施していること等

## 1. チオテパを用いた自家造血細胞移植前処置による皮膚障害の予防的ケアの実際(兵庫県立こども病院)

- ①皮膚障害を誘発しやすい薬剤に対する清潔ケアの実際の症例がとても参考になった。使用する際に簡素化できないか検討するテーマとなった。
- ②皮膚障害の予防についてオリエンテーション用紙を見直しを行った。
- ③シーツ交換のタイミングを含めて検討していたため、参考になった。
- ④施設内で情報共有した。
- ⑤自施設の有害事象を比較し検討した。

# 令和4年度の発表後のアンケート

## 2. 小児がん患者における発達障害・発達遅延のある患児の対応(東北大学病院)

- ①参考資料として自施設内で情報共有した。
- ②多職種連携チームの構成員や介入など参考にした。
- ③ケアマネジメント方法の見直しと検討を実施した。

# 令和4年度の発表後のアンケート

## 3. こども安全チェックシートの活用

～こども安全チームの活動～(九州大学病院)

- ①職員の気づきのレベルを上げていく研修体制など参考になった。
- ②医療安全対策の参考となった。
- ③こども安全チームの啓蒙活動が、虐待の早期発見に繋がっているため、自施設でも啓蒙活動に力を入れたい。

## 第2部 看護部長会議

# 令和5年度交代された看護部長

## 1. 東北大学病院

浦山三輪看護部長

## 2. 静岡県立こども病院

内藤美樹看護部長

## 3. 三重大学医学部附属病院

福永稚子看護部長

## 第2部 看護部長会 <看護部長(副看護部長)のみ参加>

### 1. 各施設からの議題等

1) 食欲不振時の食事の持ち込み許容範囲について、どこまで認めているか情報共有したい。

① 事例を共有した。

② 栄養部と連携し手作りのものを作ってもらうが市販のものとの味が違うので好まれない場合もある。

③ 他の患者との調整(疾患・持ってこれない家族もいる)

④ 「身体的に必要な栄養が得られないことで生じる二次的な障害を予防する」ことを念頭において許可している。

⑤ 血液腫瘍科病棟(化学療法の時期)のみ許可している。食事が進まない時期に許可している。

## 第2部 看護部長会

### 2. リーフレットについて

改定希望はない。令和5年度も現行のリーフレットで継続する。

### 3. 次回の発表予定施設

- 1)北海道大学病院
- 2)埼玉県立小児医療センター
- 3)国立成育医療研究センター

### 4. 今後の課題(困っている・悩んでいること)

- 1)「小児がん看護」の研究の推進や研究指導・教育(研究・小児がん看護)をディスカッションしたい。